

みんなどこへ行った～♪♪ 夕張サミット事件 (桃太郎電鉄 後編)

ふちんかん

残り2年、18年目が終了した時点で、我が「MMS」社は2位の「だいしょ」社に100億円の差をつけてトップを快走していた。

1位	MMS社長	268億2320万円
2位	だいしょ社長	168億7640万円
3位	FT社長	111億9990万円
4位	YT社長	102億7060万円

創業者のわたくしM2は地道に目的地を目指し、他社を圧倒する到着率を誇った。そして創業5年で業界トップに躍り出た。6年目からS社長にバトンタッチした後も、我が社は「堅実」を社訓として、着実に資産を増加させていった。到着率の高さや着実な資産増加の裏には、闇の会長ともいわれるM1取締役の力も大きかったと言われている。

さて18年目までの資産は上記の通り。あとは大きな事故さえ避けていれば、トップは間違いなし。…のはずだったのだが。

19年目、珍しく目的地から一番遠い北海道の夕張に我が社のS社長は居た。そしてライバル社に付いている貧乏神はキングボンビー、さらにライバル社が目的地にゴールする直前の位置に居る。…このままでは我が社にキングボンビーがやってくる。それだけは避けなくては…幸い我が社にはサミットカードという他社の社長を一同に集結させる切り札を持っていた。さらに「ぶっ飛びカード」を使いヘリコプターでぶっ飛ぶのは我が社のお家芸である。

「S社長！ここはサミットだ！」

「え!？」

「全ての社長をここ夕張に集結させて我が社は悠々と高飛びするのだ！」

「しかし会長！（ライバル社が到着して）キングが確定してからでも良いのでは？」

「ダメだ、勝つからには100億円の圧倒的な差を持って勝ちたい。やるんだ！」

「は、はい！」

社長を禅譲され、10年以上経営を任されてきたS社長であったが、それまで口出ししてこなかった前社長であるわたくしの言に異論を唱えることが憚られたのであろうか、疑問を表情に表しつつも素直にサミットカードの実行に踏み切った。

ゴール寸前で夕張まで戻されるライバル社の怨嗟の念、そして日本全国に散らばっていた他の社長たちの阿鼻叫喚。ふははっはは！これで良いのだ。だれも行き止まり駅の夕張にいる我が社にキングボンビーをなすりつけることは出来ないはずだ。

ワープな効果音とともに一社、二社と夕張に集結してきた。
 あれ？キングボンビーをつけているライバル社は最後か。
 うん？・・・ということはキングボンビーは誰に付くんだ??？
 まさか・・・まさか、我が社なのか???

そう、最初から夕張にいた我が社にキングボンビーがやってきたのだ。

「お先に失礼しまーす～」「私も里に帰らせていただきまーす」「うちも…」
 せっかく夕張に招待してやったというのに、間髪を入れず他社の社長たちは全国に散っていった。

・・・だれもいなくなっちゃったよ。いや、正確にはキングボンビーだけが残った。

あとのご想像の通り。他社が目的地に入るまでの間、我が社はキングボンビーに蹂躪されまくり、トップだった資産は全て吹き飛んだ。這々の体で迎えた 19 年目の決算。

1位	だいしょ社長	185億4790万円	(前年比 +167150万円)
2位	YT社長	175億1490万円	(前年比 +724430万円)
3位	FT社長	125億9040万円	(前年比 +139050万円)
4位	MMS社長	△7億3770万円	(前年比△2756090万円)



「…社長、売る物件がありません・・・」

18年間の積み重ねを一瞬で無きものにしてしまう、これが桃鉄のおそろしさであろうか。

そして当社とは無縁となってしまった総合優勝の行方であるが、スルスルと上位に上がってきた「YT」社が、20年目の地道な活動の末、守りに入ったトップの「だいしょ」社を7億の差でまくり、優勝を手にしたのであった。

桃太郎電鉄 最終結果

1位	YT社長	208億8780万円[8p取得]
2位	だいしょ社長	201億9060万円[6p取得]
3位	MMS社長	47億4390万円[4p取得]
4位	FT社長	△48億2110万円[2p取得]